

## 隠岐の島町立地適正化計画（素案）布施地区説明会 記録

日 時：令和4年1月18日（火）19：00～20：40

会 場：隠岐の島町役場 布施支所

出席者：布施地区（別紙参加者名簿の通り）

都市計画推進室（石田室長、前田室長補佐、室山）

### 1. あいさつ

### 2. 隠岐の島町立地適正化計画（素案）の説明

#### 3. 意見交換（○…質問・意見、→…町の回答）

○西郷に居住誘導区域を定めるということだが、区域外の居住についてはどのように考えているのか。

→都市計画区域内で、現在住んでいるところから強制的に居住を移動してもらう訳ではない。将来的に居住を移動する際に、区域内で考えてもらえるように誘導をしていく計画である。

○都市計画区域内の居住誘導区域外で3戸以上の住宅の開発、建築行為をする場合に届出をする必要が生じるということだが、1戸や2戸の場合届出は必要ないのか。

→1戸又は2戸の場合でも、1,000㎡以上の建築目的の開発行為を行う場合には届出が必要である。

○災害ハザードについて、布施のマップもあるのか。

→計画には島根県が公表しているデータを利用している。西郷地区以外についても県が公開している。

○こういった計画の説明会に消防関係者が参加していないことに不安を覚えている。

→この計画は、庁内連絡会を組織し、各部署と連携して進めている。連絡会には消防防災係もメンバーに入って協議している。

○西郷港周辺を活性化させるうえで一番大事なのは駐車場機能だと考えている。計画の中にそういったことは盛り込まないのか。

→現在、西郷港周辺地区整備を進めているところである。10月に全国からデザインコンペを募集して、応募のあった42作品の中から一次審査により6作品まで選考した。次は3月に最優秀作品の選考に入る。ご意見の駐車場機能についても、仕様書で考え方を示し、デザインを決定している。

○こうした計画をつくる中で、若者や高齢者から意見を吸い上げるような取り組みはしているのか。

→計画づくりの出発点として、全町民を対象にアンケート調査を実施している。その結果、布施地区の若い人は、「現在の居住地に住み続けたい」という意向の人が他地区と比べて一番多いことが分かっている。その理由は、生まれ育った自然環境が良いという意見が多かった。このような思いは今後の布施地区のまちづくりに生かせるのではないかと考えている。

○この計画の説明会は各地区で行っているのか。

→各拠点の地区単位で説明会を行っている。

○この案が西郷港に限られているように感じる。

→都市計画区域内で考えた時、居住を維持する上で人口密度が大切であり、30人/ha以上の西郷港周辺は、フェリー利用もあり大切な区域となる。都市の骨格を保つことは隠岐の島町全体の活力を維持する事になる。都市計画区域外については、それぞれの地域拠点として維持していく施策を検討する必要があると考えている。

○島外から人を呼び込む戦略は考えられているのか。

→この計画は観光の計画ではなく、現存する町内の人を対象としている。ただ、誘導区域内の活性化を図ることは地元の人と島外の人で賑わいを創出することにもつながると考えている。

#### 4. 今後のスケジュール

#### 5. その他